

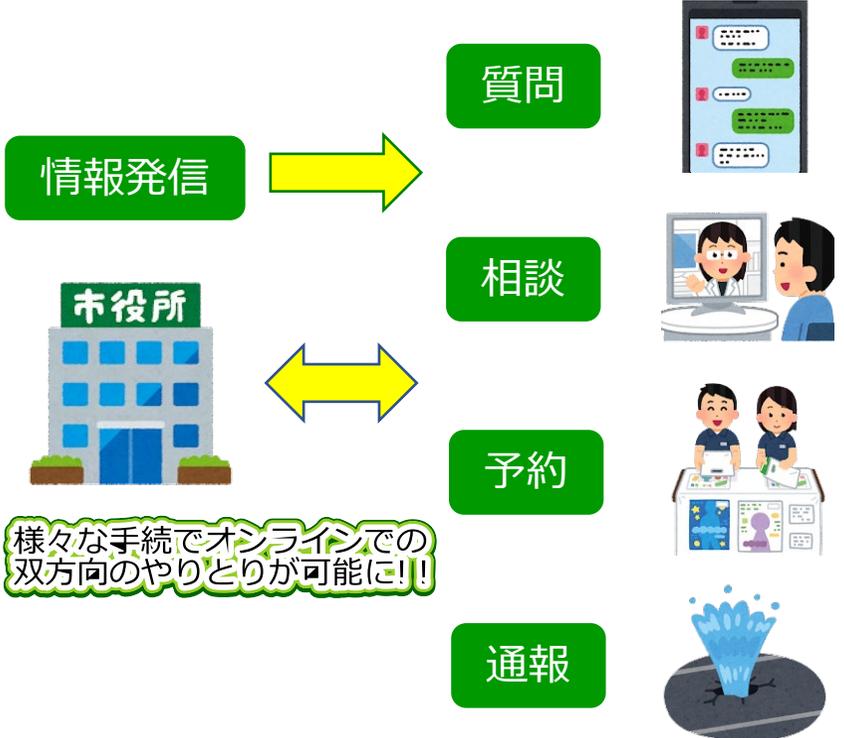
# 事業概要 【窓口キャッシュレス決済推進事業】

自治体名	秋田県	人口	910,988人	事業費	26,645千円
事業概要	<p>県の窓口での各種申請手数料や県の公共施設の使用料等の支払いについて、キャッシュレス決済端末を導入し、県証紙及び現金のほか、クレジットカード、電子マネー、QRコードなど様々なキャッシュレス決済方法により、決済手段の多様化による県民等利用者の利便性の向上を図り、スピーディな行政サービスを提供するとともに、新型コロナウイルス感染症等の感染防止に務める。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>窓口での各種申請手数料や公共施設の使用料等支払いについて、POSシステムを活用したキャッシュレス決済を導入する。</p> <p>【窓口キャッシュレス決済サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1台で全ての決済手段に対応</li> <li>• POS機能により申請等の種別と金額を連携</li> <li>• 拠点ごとの日次、月次処理</li> <li>• 申請種別毎の件数、金額、キャッシュレス利用率等の実績管理</li> <li>• 取扱実績データ等の共有化</li> </ul>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①施設利用料の窓口キャッシュレス決済の利用率</li> <li>②各種申請手数料の窓口キャッシュレス決済の利用率</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①窓口キャッシュレス決済サービス利用者の満足度</li> </ol>			

# 事業概要【高校入試WEB出願システム構築事業】

自治体名	秋田県	人口	910,988人	事業費	113,388千円
事業概要	<p>公立高校入試に係るあらゆる手続きをデジタル化・オンライン化し、入試業務の大幅な効率化と省力化を図るため、「高校入試WEB出願システム」を導入することにより、生徒や保護者の利便性の向上を図るほか、教職員の業務の負担軽減し、生徒と向き合う時間を確保することで、県全体の教育の質の向上を目指す。</p>				
具体サービス	<p>「高校入試WEB出願システム」を導入し、出願から合格発表までの一連の手続きをデジタル化・オンライン化する。また、入学検定料の納付についても、キャッシュレスに対応させる。</p> <p>【WEB出願システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>システム上で願書・各種資料の作成</li> <li>数的データの自動集計</li> <li>多様な納付方法による入学検定料の決済</li> <li>願書・調査書のオンライン提出</li> <li>システム上での合格発表・得点開示</li> </ul>		<p>The diagram illustrates the 'WEB出願システム' (WEB Application System) at its center, connected to five main stakeholders:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>秋田県教育委員会 (Akita Prefecture Education Commission):</b> 各種マスタ登録 (Various master registration), 出願倍率の確認 (Confirmation of application ratio).</li> <li><b>志願者 (Applicants):</b> 志願者登録 (Applicant registration), 志願(変更・取消) (Application (change/cancellation)), 受検票印刷 (Application ticket printing), 受検料納付 (Application fee payment).</li> <li><b>取納代行サービス(外部) (Payment Service Provider):</b> 受検料の支払・管理 (Payment and management of application fees).</li> <li><b>高校(県立・市立) (High Schools):</b> 願書・調査書の受理 (Receipt of applications and questionnaires), 受検番号の採番 (Assignment of application numbers), 受検票の交付 (Issuance of application tickets), 合否登録・通知・発表 (Registration, notification, and announcement of results).</li> <li><b>中学校 (Middle Schools):</b> 志願者の在籍確認 (Confirmation of applicant's residence), 願書の承認 (Approval of applications), 志願変更の許可 (Permission for application change), 受検料の納付確認 (Confirmation of application fee payment), 合否の確認 (Confirmation of results).</li> </ul>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①WEB出願を利用する中学校の割合</li> <li>②WEB出願の利用者数（累積）</li> <li>③キャッシュレス決済利用者の割合</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①WEB出願による生徒（保護者）の満足度</li> <li>②教職員の入試選抜事務に要した時間の減少数</li> <li>③</li> </ol>		

# 事業概要 【秋田市公式LINE機能拡充事業】

自治体名	秋田県秋田市	人口	297,679人	事業費	278千円
事業概要	「子育てLINE」の愛称で暫定的にスタートしていた地方公共団体プランを「秋田市公式LINE」と改称し、関係部に管理用アカウントを配付して、全庁的に市民と市との双方向通信を実現する。				
<p>具体サービス</p>	<p>【AIチャットボットサービスの拡充】 子育て関係等、一部の業務に限られていたチャットボットによる自動応答機能を全庁の業務に拡大する</p> <p>【LINE相談機能の拡充】 子育て関係で実施してきたLINEのチャット機能による相談受付を健康相談や消費者生活相談などにも拡大</p> <p>【イベント等予約機能の拡大】 イベントや相談等、定員管理が必要な予約の受付を子育て関係以外でも利用できるようにする</p> <p>【通報機能の導入】 道路の損傷状況や災害状況の写真・位置情報等を市民からの通報で取得</p>	 <p>市役所</p> <p>情報発信</p> <p>質問</p> <p>相談</p> <p>予約</p> <p>通報</p> <p>様々な手続きでオンラインでの双方向のやりとりが可能に!!</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①追加した機能・サービスへのアクセス数</p> <p>②追加した機能・サービスに係る配信コンテンツ数</p> <p>③チャットボットに登録した設問数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①利用者の満足度</p>			

# 事業概要 【事業承継支援事業】

自治体名	秋田県能代市	人口	48,400人	事業費	2,000千円
事業概要	<p>地域事業者の後継者不足が深刻な状態であり、今後後継者不在を要因とした廃業が増えることが見込まれている。そうした課題の解決を目指すため、後継者を探す事業者の情報をWEB上に記事として掲載し、全国の後継希望者とマッチングを行う。</p> <p>※事業の流れイメージはP5【サービス概要】参照</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>◎「ニホン継業バンク」を活用した事業承継支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の商工会議所、金融機関等と連携した事業承継事案の発掘</li> <li>・事業者へ極力負担をかけない仕組み（記事掲載の費用負担ゼロ、記事作成代行、マッチング時の）</li> <li>・マッチング後の各種サポート（事業承継で活用できる補助金等支援制度の紹介、融資等の各種相談受付）</li> </ul> <div data-bbox="1120 432 1976 1192" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p><b>「継業バンク」への記事掲載</b></p> <p>事業者がどのような形態で承継を望むのかをヒアリングし、関連団体も含めた協議のうえ、記事掲載の内容を決めていく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>能代市</p> <p>継業バンク</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>【マッチング区分の主な例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>後継者募集</b> 後継者候補を事業に参加させながら育成し、その後事業を承継する</li> <li><b>技術継承(弟子募集)</b> 技術だけの継承を目的とする(事業そのものは譲渡しない)</li> <li><b>事業譲渡</b> 事前の調整のみで、後継者に事業を即時譲渡する</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>活用できそうな市や県の補助金情報等も併せて記事に掲載</p> </div> </div> <p>ヒアリング</p> <p>後継者を探す事業者</p> <p>継業バンク</p> <p><b>マッチング時の支援の流れ</b></p> <p>①申込・問合せ → ②申込等の情報通知 → ③申込等に関する内容ヒアリング → ④申込・ヒアリング内容の伝達 → ⑤情報共有</p> <p>後継者候補 ← ③申込等に関する内容ヒアリング</p> <p>申込対象事業者 ← ④申込・ヒアリング内容の伝達</p> <p>支援に関わる各団体等 ← ⑤情報共有</p> <p>能代市</p> <p>継業バンク</p> <p>基本的には能代市が窓口及び中継役となって、後継者候補と事業者、関連団体をつないでいく。</p> </div>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「継業バンク」への承継記事掲載数</li> <li>②事業承継記事へのマッチング応募数</li> <li>③「継業バンク」へのアクセス数</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①事業承継の成立数</li> <li>②事業承継支援に対する満足度</li> <li>③</li> </ol>		

# 事業概要【LINE拡張サービス導入事業】

自治体名	秋田県能代市	人口	48,400人	事業費	4,252千円
事業概要	<p>R5大雨災害時に、pull型の情報発信では迅速な広報が難しく、広報力の低さが顕在化した。LINEは今や社会インフラの1つとしての役割を担っており、導入により多くの方に情報発信ができるほか、push型の情報発信で迅速な広報を実現する。また、拡張サービスにより個々のニーズに合った情報発信を実現するほか、チャット相談や通報機能等の双方向のサービスを提供することで、より身近に行政サービスを受けることが可能となる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p><b>【LINE拡張サービス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>リッチメニュー</b> キーボードエリアに各サービスを画像形式で表示させ、ポータルとして活用することにより、より行政サービスにアクセスし易くなる。</li> <li>・<b>セグメント配信機能</b> 登録者が受信したい項目を選択することができるため、個々のニーズに合った情報発信が可能となる。</li> <li>・<b>チャット相談機能</b> 総務省等で示したガイドラインのセキュリティを担保した方法でプライバシー性の高い相談を実現する。</li> <li>・<b>AIチャットボット</b> LINE及び市ホームページにチャットボットを設置し、開庁時間に限らず定例的な問い合わせ対応を実現する。</li> <li>・<b>通報（報告）機能</b> LINEトーク画面から、写真・位置情報付きで公共施設等に関する通報（報告）ができるため、開庁時間に限らず利用できるほか、情報がより正確に伝達される。また、周知が必要な内容の場合、マップとして公開が可能となる。</li> </ul>		<p>LINE機能イメージ</p> 		
<p>主なKPI</p>	<p><b>【アウトプット指標（活動指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①公式LINEアカウント登録者累計数</li> <li>②チャット相談回数</li> <li>③AIチャットボット利用者数</li> </ol>		<p><b>【アウトカム指標（成果指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①公式LINE提供サービス満足度</li> <li>②公式LINE情報発信コンテンツ満足度</li> <li>③相談件数の増加</li> </ol>		

# 事業概要【A Iドリル導入事業】

自治体名	秋田県能代市	人口	48,400人	事業費	4,224千円
事業概要	<p>I C T 端末の利用率について、同じ学校の同じ学年でも格差が生じている現状を踏まえ、先端技術を活用し、児童生徒の個別最適な学びを推進するほか、業務内容が多様化・複雑化している教員の多忙化を防止するため、個々の習熟度に応じた学習が可能となるAIドリルを導入する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【AIドリル導入】：ラインズ e ライブラリアドバンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AI技術により個々の興味関心、学習ペース等に応じた問題が出題されるため、児童生徒が主体的な学習に取り組むことが可能になる。</li> <li>教員や保護者が児童生徒の学習進度や到達度等を視覚的に把握可能になる。</li> </ul> <p>【中学校プリントパック導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公立高等学校入試の過去問題が利用できるようになることから、児童生徒においては苦手分野の把握や学力向上が見込め、教員においては教材準備にかかる時間を縮減できることから、負担軽減が図られる。</li> </ul>				
<p>主な KPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①長期休業期間（夏季、冬季）において I C T 端末を持ち帰り、A I ドリルを利用した児童生徒数の割合</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①全国学力・学習状況調査結果の平均正答率（小6、中3）</p> <p>②児童生徒のA I ドリルへの満足度</p>		

# 事業概要 【収蔵資料公開データベース整備事業】

自治体名	秋田県能代市	人口	48,400人	事業費	1,185千円
事業概要	<p>閉校校舎を改修し令和5年度に設置した能代市文化財資料収蔵庫において、能代市文化財等収集方針に基づき地域特有の歴史文化に関する文化財や資料を収集整理・保管していくことになっているが、収蔵資料の活用に向けて管理用データベースを整備、広く公開し、市民や調査研究者が資料へ容易にアクセスできる手だてを構築する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p><b>【新規サービス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>収蔵資料データベースの公開</b> 収蔵資料をデータベースにより適切に管理すると同時に、その情報を公開することによって、市内外における調査研究を可能とし、収蔵資料へのアクセスも容易にできるようにする。</li> <li>● <b>【クラウド型収蔵品管理システムの導入】</b> データベースシステムは、登録から業務管理、公開までを一連に自前で実施できるクラウド型システムを採用する。</li> <li>● <b>登録データ蓄積</b> 現在市で収蔵している資料のほか、寄贈寄託を受けた個人所蔵資料を整理し、画像とあわせて随時登録し資料情報を蓄積していく。</li> <li>● <b>収蔵資料管理</b> 貸出、展示、収集、借受等の業務データ管理用として活用する。</li> <li>● <b>データベース公開機能</b> 検索機能及び画像つきデジタルアーカイブとして公開する。</li> </ul>	<p>● 能代市ホームページから「コレクション検索」など、設定した公開ページにリンク</p> <p>● 研究者をはじめ、一般市民、観光客や学生など、さまざまな利用者に情報提供</p>			
主なKPI	<p><b>【アウトプット指標（活動指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①収蔵資料登録公開数</li> <li>②データベースアクセス数</li> </ol>	<p><b>【アウトカム指標（成果指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①収蔵資料問合せ件数</li> <li>②博物館・美術館等の展示用途での利用点数</li> </ol>			

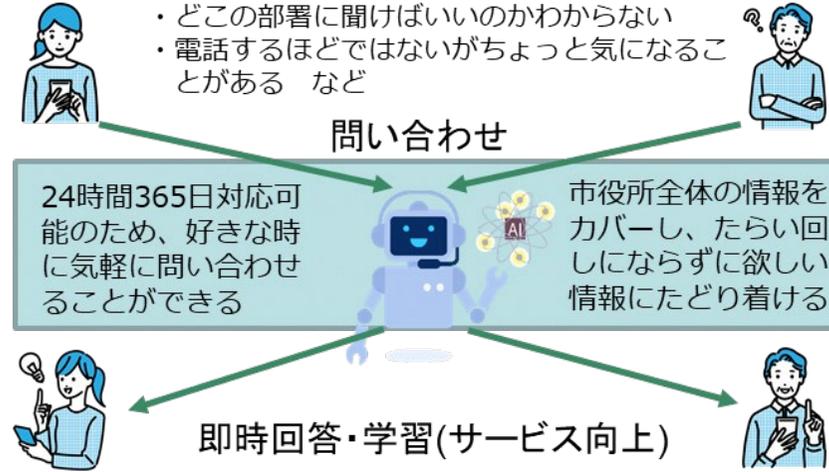
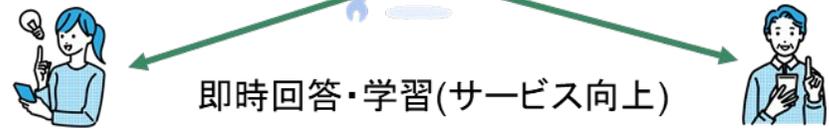
# 事業概要 【郵送請求キャッシュレスサービス事業】

自治体名	秋田県能代市	人口	48,400人	事業費	1,771千円
事業概要	<p>証明書の郵送請求は紙でのやりとりを前提としており、請求者と市双方に負担がかかる手続きとなっている。証明書交付手数料の支払に必要な定額小為替は郵便局の取扱いのみであり、さらに、2022年1月より1枚あたりの発行料金が100円から200円と値上げされ、請求者の費用負担が大きくなっている。</p> <p>郵送請求の手続をシステム化し、手数料の支払いにキャッシュレス決済を導入することにより、行政サービスの向上に加え、職員の業務効率化と負担軽減を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p><b>【郵送請求キャッシュレスサービス】</b></p> <p>郵送請求における手数料の支払のキャッシュレス決済が可能となる。定額小為替の事前準備や不足による再送等の利用者負担の軽減が可能となる。</p> <p>また、手続のシステム化により進捗状況が可視化され、電話による問い合わせ等の削減が期待される。</p> <p>さらに、本サービスは住民だけでなく、土業による職務上請求や事業者による第三者請求にも対応している。</p>				
<p>主なKPI</p>	<p><b>【アウトプット指標（活動指標）】</b></p> <p>①利用割合</p> <p>②</p> <p>③</p>		<p><b>【アウトカム指標（成果指標）】</b></p> <p>①サービスの満足度</p> <p>②</p> <p>③</p>		

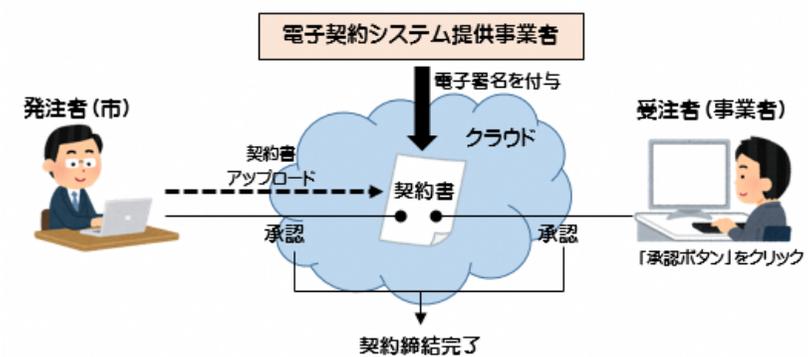
# 事業概要 【小中学校ICT環境整備事業】

自治体名	秋田県横手市	人口	82,610人	事業費	21,006千円
事業概要	<p>大型提示装置を用いた学習の取り組み強化に向けて整備を進める。大型提示装置を通じた学校間でオンライン交流授業の実施や、企業・専門家を講師とする授業等へのオンライン参加など専門的な知識や技能に触れる機会の創出、また、デジタル教材の良さを活かす高画質・高精細な機種を選定し、より理解を深める授業の展開を図るなど、質の高い学習環境を整える。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【大型提示装置を活用した学習の取り組み強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内各小中学校へ大型提示装置を配置する。</li> <li>・自宅や保健室等の待機中の児童生徒、不登校の児童生徒へ授業を配信することでオンラインによる参加機会を創出する。</li> <li>・学校間とのオンラインによる双方向授業、交流授業を展開することで、児童生徒の学びあい体験を通じた学習活動の充実を図る。また、企業や専門機関等から講師として参加いただくことで、専門的な知識や技能に触れる機会を創出する。</li> <li>・通常授業も含め、デジタル教材やデジタル教科書の掲示にも大型提示装置を活用する。高画質・高精細な機種を選定により、教室のどこからでも見やすく、また、教材の良さを活かすことで、より理解を深める授業の展開を図り、質の高い授業を提供する。</li> </ul>		<p>■ 双方向授業でのつながり</p> <p>別室・自宅等 児童生徒 ↔ 市内外の他校 教師・児童生徒</p> <p>別室や自宅等からの授業参加</p> <p>他校から交流授業等の双方向通信</p> <p>協力企業等から双方向通信</p> <p>協力企業・施設・社会見学施設等 講師等</p> <p>■ 高画質で授業に集中できる学びの一体感</p> <p>高画質・高精細な画面で資料提示</p> <p>デジタル教科書 デジタル教材 資料共有等</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①大型提示装置によるオンライン通信を活用した授業の実施回数</li> <li>②大型提示装置とデジタル教材を組み合わせる授業を実施（週1回以上）する教職員の割合</li> </ol>		<ol style="list-style-type: none"> <li>①大型提示装置を使った授業はわかりやすいと思う児童生徒の割合</li> <li>②大型提示装置などを活用して効果的に提示（児童生徒の意見などを含む）できる教員の割合</li> </ol>		

# 事業概要 【A I チャットボット導入事業】

自治体名	秋田県大館市	人口	66,917人	事業費	4,730千円
事業概要	<p>市ホームページにA I チャットボットを導入することにより、情報量が多い市のホームページにおいて、市民が求める情報を得ることが容易となる。さらに閉庁時や夜間の問い合わせにも対応が可能となるため、利用者の利便性の向上が図られる。また、職員の事務負担の軽減を図ることで、今後の人口減少社会において、限られた職員数で市民サービスを維持していくため業務の効率化につなげる。</p>				
<p>【A I チャットボット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A I チャットボットを、市ホームページに導入し、市民・事業者・観光客等からの問い合わせに24時間365日自動回答する。</li> <li>・問い合わせ業務を自動化することにより、市職員の事務負担軽減となる。</li> <li>・利用者ニーズの把握により情報発信強化などの行政サービスの向上につなげることが可能となる。</li> </ul>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="text-align: left;"> <p><b>利用者目線</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所に行く時間がない(開庁時間でない)</li> <li>・どこの部署に聞けばいいのかわからない</li> <li>・電話するほどではないがちょっと気になることがある など</li> </ul> </div> <div style="text-align: right;">  </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>問い合わせ</p>  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="text-align: left;"> <p>24時間365日対応可能のため、好きな時に気軽に問い合わせることができる</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>市役所全体の情報をカバーし、たらい回しにならずに欲しい情報にたどり着ける</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>即時回答・学習(サービス向上)</p>  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="text-align: left;"> <p><b>職員目線</b></p> <p>問い合わせ対応の事務負担軽減</p> <p>利用者ニーズの把握</p> </div> <div style="text-align: right;">  <p>コア業務の効率化 行政サービス向上</p> </div> </div> </div>				
<p>主な KPI</p>	<p>【アウトプット指標 (活動指標) 】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① A I チャットボット対応件数</li> <li>② A I チャットボットサイト遷移数</li> <li>③</li> </ol>	<p>【アウトカム指標 (成果指標) 】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 利用満足度</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>			

# 事業概要 【電子契約導入推進事業】

自治体名	秋田県大館市	人口	66,917人	事業費	660千円
事業概要	<p>契約事務における事務経費の削減や業務時間の短縮等、契約事務の改善・効率化を図るため、市が率先してクラウドサービスによる電子契約システムを導入し、有益性・利便性を事業者に拡散させることによって、地域における契約書の電子化を促進させる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【電子契約サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市が指定するクラウドシステムを利用して契約締結を行う。</li> </ul>	<p>○電子契約の流れ</p> 			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子契約サービスを利用した割合</li> </ul>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子契約の波及効果</li> </ul>			

# 事業概要 【キオスク端末（自動証明書交付機）及びキャッシュレス決済導入事業】

自治体名	秋田県大館市	人口	66,917人	事業費	9,717千円
事業概要	<p>市民対応窓口でキオスク端末の設置とキャッシュレス決済を導入する。キオスク端末の利用の際に必要なマイナンバーカードの利活用を図るほか、窓口混雑時の待ち時間軽減を図るとともに、窓口での多様な支払い方法を提供することで、市民の利便性向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【キオスク端末（自動証明書交付機）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民票等発行</li> <li>・印鑑登録証明書発行</li> <li>・戸籍謄抄本発行 など</li> </ul> <p>【キャッシュレス決済】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クレジットカード</li> <li>・電子マネー</li> <li>・QRコード など</li> <li>・現金は自動釣銭機で対応</li> </ul>	 <p>The image shows a kiosk terminal with a screen displaying '印鑑登録証明書' (Seal Registration Certificate), a multi-function copier, and a graphic illustrating cashless payment methods: a smartphone with a QR code, a credit card, and cash being processed into a digital form.</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①キオスク端末証明書 1日あたり平均発行件数</li> <li>②キャッシュレス決済利用率</li> <li>③</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①コンビニ交付での証明書発行件数</li> <li>②窓口会計時の利用者満足度</li> <li>③</li> </ol>			

# 事業概要 【A I オンデマンド型相乗エアポートタクシー事業】

自治体名	秋田県大館市	人口	66,917人	事業費	32,248千円
事業概要	<p>現在、大館市（中心部）から大館能代空港の間で運行しているリムジンバスの移動時間が約70分と長時間に及んでいるほか、当該空港に大館市（中心部）へ向かうタクシーが待機していないため移動手段に困るといった、地域交通網の整備に対する課題が年々大きくなっている。既存の公共交通手段を補完する新たな移動サービスである相乗エアポートタクシー事業を実施することで、地域交通網の課題解決を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【A I オンデマンド交通システム】 ダイヤが固定ではなく、乗客のリクエストに応じ、AIがリアルタイムでルートを決めし運行するサービス。</p> <p>① 予約の依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者は、インターネットまたはスマートフォンから、システム提供事業者のホームページまたはアプリケーションにアクセスし、必要な情報を入力し、予約依頼を行う。</li> <li>・依頼後24時間以内に予約可否の連絡をメールまたは通知で利用者へお知らせ。</li> </ul> <p>② 予約の確定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・24時間以内に配車可否を利用者へ通知。</li> <li>・前日の所定時間までに乗車時間と車両が確定。</li> </ul> <p>③ 当日・乗車と支払い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者は、乗車時間になったら指定箇所にて乗車。</li> <li>・途中でシェア乗り手が乗車。</li> <li>・オンライン決済で支払いをスムーズに。</li> </ul>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 利用者数</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 利用者満足度</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>		

# 事業概要 【コンビニ交付サービス導入事業】

自治体名	秋田県男鹿市	人口	24,079人	事業費	22,885千円
事業概要	<p>マイナンバーカードを活用し、全国のコンビニエンスストア等のキオスク端末で、住民票の写し等の各種証明書の取得が可能となるコンビニ交付サービスを開始する。コンビニ交付の導入により市民の利便性の向上が図られる。</p>				
具体サービス	<p>【コンビニ交付サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象となる証明書               <ul style="list-style-type: none"> <li>住民票の写し</li> <li>住民票記載事項証明書</li> <li>印鑑証明書</li> <li>税証明書</li> <li>戸籍証明書</li> <li>戸籍の附票</li> </ul> </li> <li>利用可能時間               <ul style="list-style-type: none"> <li>6:30~23:00</li> <li>ただし、戸籍証明書は平日9:00~17:15</li> </ul> </li> </ul>		<pre> graph LR     Resident[住民] -- "マイナンバーカード" --&gt; Kiosk[コンビニ等のキオスク端末 (マルチコピー機)]     Kiosk -- "証明書" --&gt; Resident     Kiosk --- Center[証明書交付センター J-LIS]     Center --- System((コンビニ交付システム・発行サーバ))     Center --- City((男鹿市))   </pre>		
主な KPI	<p>【アウトプット指標 (活動指標)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①コンビニ交付サービスでの証明書等交付件数</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>		<p>【アウトカム指標 (成果指標)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①コンビニ交付サービスに関する市民満足度</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>		

# 事業概要 【書かない窓口整備事業】

自治体名	秋田県湯沢市	人口	40,597人	事業費	40,180千円
事業概要	<p>窓口において職員の聞き取り等により申請書を作成して記入を不要とすることで利便性を向上させ、高齢者等オンライン申請を利用することが困難な市民もデジタル技術の恩恵を受けられるようにするとともに、基幹業務システムとのデータ連携により、聞き取り時のナビゲーションやバックオフィス業務の効率化を図り、対面サービスの充実に時間を振り向けることで、全ての世代にとって「住んで良かった」と思えるまちを実現する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p><b>【窓口DXSaaS】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>申請書作成支援機能 自治体が保有するデータを活用した精度の高い申請書の作成が可能。</li> <li>ライフイベント関連手続き判定機能 転入や転出、転居などライフイベントの申請時に自治体が保有するデータにより、必要な関連手続きを自動リストアップし、案内・受付が可能。</li> <li>手続きナビゲーション機能 手続き受付時の受付手順や確認項目をナビゲーションすることが可能。</li> <li>基幹業務システムデータ連携機能 API連携等により、窓口で受付した内容を基幹業務システムへ反映させ入力を効率化。</li> </ul>				
<p>主なKPI</p>	<p><b>【アウトプット指標（活動指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①書かなくてよい申請書様式数</li> <li>②「自治体窓口DXSaaS」により作成した申請書の割合</li> <li>③</li> </ol>		<p><b>【アウトカム指標（成果指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①窓口対応市民アンケートの満足度</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>		

# 事業概要【介護認定審査会のペーパーレス化】

自治体名	秋田県 鹿角市	人口	27,742人(令和5年11月末)	事業費	2,483千円
------	---------	----	-------------------	-----	---------

**事業概要**

当市の介護認定審査会は、3合議体（各5名）あり、毎月3～4回年間50回程度を集合形式で開催している。タブレット端末の導入により、資料作成や資料の配布時間・紙の削減、介護認定業務の効率化や認定の処分日数の短縮を図る。また、資料の電子化、審査会のオンライン化等により、委員選定・推薦のハードルを下げ、人員確保に努めることで、適切な審査会運営と市民へのサービス提供を図る。

**具体サービス**

- ・【ペーパーレス会議システム】  
介護認定審査会の資料確認、審査会の開催をオンライン化することで、審査会の回数や一回当たりの審査件数の増加、認定までの日数短縮を図る。  
また、資料の追加や差し替えを容易にすることで、末期がん等の方へ迅速な対応ができる体制を整える。
- ・【タブレット端末導入】  
上記ペーパーレス会議システムを利用するため、介護認定審査会委員と事務局員用にタブレット端末を導入する。  
(導入台数17台)  
鹿角市介護認定審査会委員15名、事務局1台、予備機1台

```

graph TD
    A[認定調査票] --> B[資料作成]
    C[主治医意見書] --> B
    B --> D[資料印刷]
    D --> E[配布]
    E --> F[審査会]
    F --> G[資料破棄]
    G --> H[審査結果入力→通知]
    
    subgraph Callout [この部分を電子化し、  
「印刷」「配布」「破棄」  
の手間を削減。]
        D
        E
        G
    end
  
```

<b>主なKPI</b>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①介護認定審査会開催件数</li> <li>②一回当たりの介護認定審査件数</li> </ul>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①介護認定の処分日数</li> <li>②介護認定審査会委員の資料確認時間</li> <li>③審査会の紙使用枚数</li> </ul>
--------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 事業概要 【収納業務デジタル改革事業】

自治体名	秋田県由利本荘市	人口	71,809人	事業費	24,474千円
事業概要	<p>行政サービスにおける公金収納業務においてセルフ型税公金収納機及びセミセルフレジの導入により市役所窓口における税金・料金の支払手続におけるお客様の滞在負担を縮減するとともに、多様化している各種相談業務の充実を図るため、収納データの生成により消込作業工数を削減し、効率化することで、各種窓口相談業務の質の向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【セルフ型税公金収納機・セミセルフ型レジ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 税公金の納付書支払いをセルフ形式で自動受付</li> <li>• セミセルフレジではキャッシュレス決済を実施</li> </ul> <p>【収納データ連携機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 収納情報から納付書をイメージ画像連携により収納データを生成し、CSVデータを作成</li> <li>• 自治体システムへ連携</li> </ul>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①キャッシュレス決済利用率</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①手続所要時間の短縮</li> <li>②セルフ型税公金収納機・レジの満足度</li> <li>③</li> </ol>		

# 事業概要 【位置情報を活用した公共施設利便性向上事業】

自治体名	秋田県由利本荘市	人口	71,809人	事業費	4,609千円
事業概要	<p>公共施設（市有地）における法面を含む傾斜地や広大な面積の草刈作業には、作業を行う上での危険性や非効率性が挙げられる上に、施設を利用する市民へのサービス低下に繋がっている。このことから、位置情報の収集が可能な無線遠隔草刈機の導入により、効率化と安全性を確保し、かつ、利用者の満足度向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【無線遠隔草刈機】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>傾斜地での作業が可能な無線遠隔草刈機の導入</li> </ul> <p>【測位端末】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無線遠隔草刈機に搭載</li> <li>準天頂衛星を活用した測位端末であり、位置情報の収集と作業履歴の蓄積、データ化を図る</li> <li>作業時間の把握</li> </ul>	<p>GNSS</p> <p>GNSS信号</p> <p>無線遠隔草刈機</p> <p>サービス一体型受信機 測位端末</p> <p>クラウド IOTプラットフォーム</p> <p>操作ログ・測位情報ダウンロード</p> <p>最新位置、軌道履歴閲覧</p> <p>Web Client Options</p> <p>Mower Center ID: _____ Port: _____</p> <p>Mower ID: _____</p> <p>Mower Name: _____ Password: _____</p> <p>Mower IP: _____</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①測位端末を搭載した無線遠隔草刈機利用回数</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①公共施設（市有地）利用市民の満足度</li> <li>②従前と比較した作業時間の減</li> <li>③</li> </ol>			

# 事業概要 【AIチャットボット導入事業】

自治体名	秋田県由利本荘市	人口	71,809人	事業費	3,520千円
事業概要	<p>チャットボットシステムを導入し、市民を始めとする相談者に対し24時間365日、質問に対して正確な回答を得ることが可能になる。これと同時に回答者である職員は、電話応対時間の縮減によって、より付加価値の高い業務に集中することができ、業務効率の向上が見込まれ、人口減少社会においても行政サービスの維持・向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【チャットボットシステム導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チャットボットシステムの構築を行い、運用する</li> <li>構築に併せて、多く質問・問合せが来る内容を精査し、リスト化する</li> <li>運用状況に応じて対応内容を追加や修正を行う</li> </ul>	 <p>・ タブレット端末の音声入力機能を利用。</p> <p>— 検索文の入力にキーボードの音声入力機能（端末側に実装された機能）を利用することで、音声入力に対応可能と想定しています。 ※システム自体に音声入力機能は実装されていません。</p> <p>検索結果は端末の画面サイズで表示されます。</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①AIチャットボット利用件数</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①市民のチャットボット利用に関する満足度</li> <li>②ウェブサイト問い合わせ件数</li> <li>③</li> </ol>			

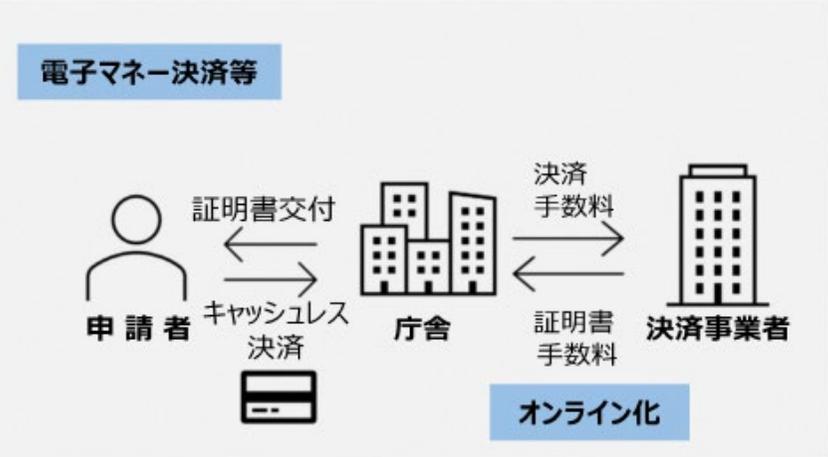
# 事業概要【遠隔相談システム拡大事業】

自治体名	秋田県由利本荘市	人口	71,809人	事業費	7,350千円
事業概要	<p>現在、各総合支所等へ設置されている遠隔相談システムを各出張所等へも追加配置し、現行では福祉関係に限られていた相談可能内容を拡大するとともに、複数職員での対応が可能となりワンストップでの手続きが可能となる。追加設置分については、気軽に相談ができる設備配置とし、職員側も現行利用端末で受けることができる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【遠隔相談システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遠隔相談用の端末を各出張所等に配置する。利用者は、端末から本庁の窓口部署にビデオ通話で接続する。窓口職員が問合わせの内容を聞き取り後、担当課に接続する。</li> <li>現行の遠隔相談システムは、設置が総合支所等に限られているほか、福祉関係の部署に窓口が限られており、他部署や複数部署での対応が不可能であったことから、本システムの導入により、幅広い部署での対応かつ複数部署での同時対応が可能となる。</li> <li>遠隔相談には既存のWeb会議システムを用いる。</li> </ul>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①遠隔相談システムの利用者件数</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①遠隔相談システムの満足度</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>			

# 事業概要 【外部向けペーパーレス会議システム構築事業】

自治体名	秋田県由利本荘市	人口	71,809人	事業費	7,900千円
事業概要	審査会等外部からの参加がある会議等においては、従来から資料を印刷し紙で配布しているが、タブレットを導入し、資料をデータとして共有することにより、会議参加者（市民）が事前に紙資料を受け取り、会議に持参する負担を無くすとともに盗難・紛失リスクを減らす				
具体サービス	【ペーパーレス会議システム構築】 <ul style="list-style-type: none"> <li>システム初期構築</li> <li>ペーパーレス会議端末導入</li> <li>利用者（市民）への導入支援</li> </ul>	 <p>■ファイル自動分割／登録機能</p> <p>複数の審査対象者情報がまとまったPDFをシステムにアップロードすると、申請者ごとに資料が分割される。そのため、審査会の資料確認がスムーズに。</p> 			
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 <ol style="list-style-type: none"> <li>①ペーパーレスにより、会議参加者（市民）が紙資料を受け取らずに参加した回数</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>	【アウトカム指標（成果指標）】 <ol style="list-style-type: none"> <li>①外部参加者の満足度</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>			

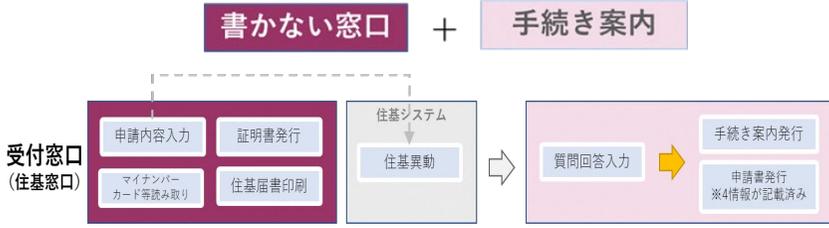
# 事業概要 【キャッシュレス決済導入事業】

自治体名	秋田県潟上市	人口	31,645人	事業費	1,934千円
事業概要	<p>スマートフォンの普及とともに現金以外の決済手段が増加している中で、市役所においても現金のみによる手数料の納付は住民等にとって利便性が悪いことに加え、感染症対策の面からも非接触による手続きを進めるためキャッシュレス決済・セミセルフレジを導入する。当事業の実施により、現金を持ち歩かなくても手数料の支払いができるほか、現金を取り扱う時間や手間が削減されることによりスピーディーな決済とスマートなサービスを提供する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【キャッシュレスサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・stera terminal（決済代行会社）</li> </ul> <p>クレジットカード、電子マネー、QRコードの主要決済を全て1台の端末で行うことが可能。ディスプレイが職員側とお客様側それぞれにあることで、決済時は非接触となることから、近年のコロナ対策にも繋がる。</p> <p>【POSシステム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・POS + retail（ポスタス株式会社）</li> </ul> <p>キャッシュレス端末stera terminalに搭載することのできるPOSシステムのため、POS用タブレット不要で、1台で会計から決済まで完結する。システムから多種多様な帳票を抽出でき、市における調定や集計業務の効率化を実現する。</p>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①キャッシュレス決済の件数</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①窓口における利用者満足度</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>		

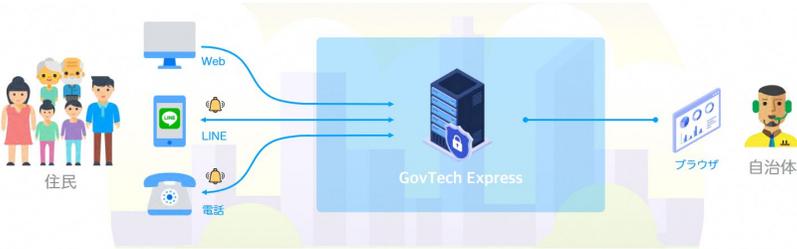
# 事業概要 【ハザードマップデジタル化事業】

自治体名	秋田県潟上市	人口	31,645人	事業費	3,698千円	
事業概要	<p>複数の災害について、ハザードマップの一元化、避難所等の情報を随時更新可能にすることを目的とし、WEBハザードマップを導入する。これにより、市民が常に最新の情報を手軽に確認できるようになり、防災意識が向上することを期待している。</p>					
具体サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホを利用することで、外出先でもWEBからハザードマップを閲覧可能</li> <li>・1つのページで複数種類のハザードマップを閲覧可能</li> <li>・避難所等のポイント情報を職員が随時更新可能</li> <li>・任意の範囲だけを切り取って印刷が可能</li> </ul> <div data-bbox="1108 492 1984 1106" style="text-align: right;"> </div>					
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①WEBハザードマップの閲覧数</li> <li>②防災訓練での活用回数</li> <li>③</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①WEBハザードマップに対する満足度</li> <li>②住民の防災意識向上度</li> <li>③潟上市総合防災訓練参加人数</li> </ol>				

# 事業概要 【だいせんやさしい窓口プロジェクト】

自治体名	秋田県大仙市	人口	75,300人	事業費	46,445千円
事業概要	<p>I C T 技術を活用した窓口 D X ソリューションを導入し、住民の手続きにおける提出書類の記載の負担軽減や職員の作業負担軽減および個人の経験や知識に依存しない均質な窓口サービスの提供を実現することにより、住民サービスの向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【窓口手続き支援システム（書かない窓口）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存の住記システムで処理する業務が対象。</li> <li>マイナンバーカード等の読み取りや職員の聞き取りにより、申請書・届出書の手書きの負担を軽減。</li> <li>読み取った内容がシステムに自動入力されることで、確認や入力の負担を軽減。</li> <li>システムがヒアリング内容をナビゲーションすることで、申請者ごとに異なる必要な手続きの案内をサポート。</li> <li>手続き案内票と住所、氏名等が記載済みの申請・届出書が出力され、続く手続きも安心、スムーズに。</li> </ul> <p>【申請書自動入力システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住記システム以外の業務（マイナンバーカード関連、戸籍関連 等）が対象。</li> <li>マイナンバーカード等を読み取り、基本 4 情報を印字した申請・届出書を自動発行。</li> </ul>		<p>【窓口手続き支援システム（書かない窓口）】</p>  <p>書かない窓口 + 手続き案内</p> <p>受付窓口 (住基窓口)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>申請内容入力</li> <li>証明書発行</li> <li>マイナンバーカード等読み取り</li> <li>住基届書印刷</li> </ul> <p>住基システム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住基異動</li> </ul> <p>手続き案内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>質問回答入力</li> <li>手続き案内発行</li> <li>申請書発行 ※4情報が記載済み</li> </ul>  <p>タッチパネル式端末で必要な申請書の種類を選択。</p> <p>マイナンバーカード等を読み取り個人情報を取得。</p> <p>個人情報に記載済みの申請書が印刷。必要事項を追記し窓口へ提出する。</p>		
<p>主な KPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①窓口手続き支援システム（書かない窓口）利用割合</li> <li>②申請書作成システム利用者数</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①市民の満足度</li> <li>②異動を伴う手続き（転入届）に要する時間</li> </ol>		

# 事業概要 【大仙市公式LINEアカウント機能拡充事業】

自治体名	秋田県大仙市	人口	75,300人	事業費	1,870千円
事業概要	<p>大仙市公式LINEアカウント上に、LINE内で完結するオンライン申請や、意見募集・パブリックコメント、セグメントごとのプッシュ通知を機能を拡充し、住民が24時間いつでもどこからでも各種申請や問い合わせが可能な環境を整備する。また、継続的な住民サービス向上を図るメニューを開発・実装し、LINEによる「オンライン市役所」を実現させる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>大仙市LINE公式アカウント（友達数：12,353人（令和5年12月末時点）に「GovTech Express」を導入し、以下の機能等を搭載した「オンライン市役所」を構築する。</p> <p>なお、各種手続きに係る本人確認に当たっては、マイナンバーカードを活用した公的個人認証サービスによる確認を行うとともに、一問一答のトーク形式での手続案内を可能にすることにより、誰でも簡単に分かりやすいUI・UXに配慮したシステムを構築する。</p> <p>【搭載機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LINE内で手続きが完結するオンライン申請作成機能</li> <li>・意見・パブリックコメント募集機能</li> <li>・セグメント別プッシュ型通知機能</li> <li>・既存システム（母子手帳アプリ、公共施設予約システム等）連携機能</li> </ul>		 		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①大仙市公式LINEお友達登録者数</li> <li>②LINE上で完結するオンライン手続き実装数</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①市公式LINE利用者の満足度</li> <li>②市政評価「市の情報入手手段」の割合</li> </ol>		

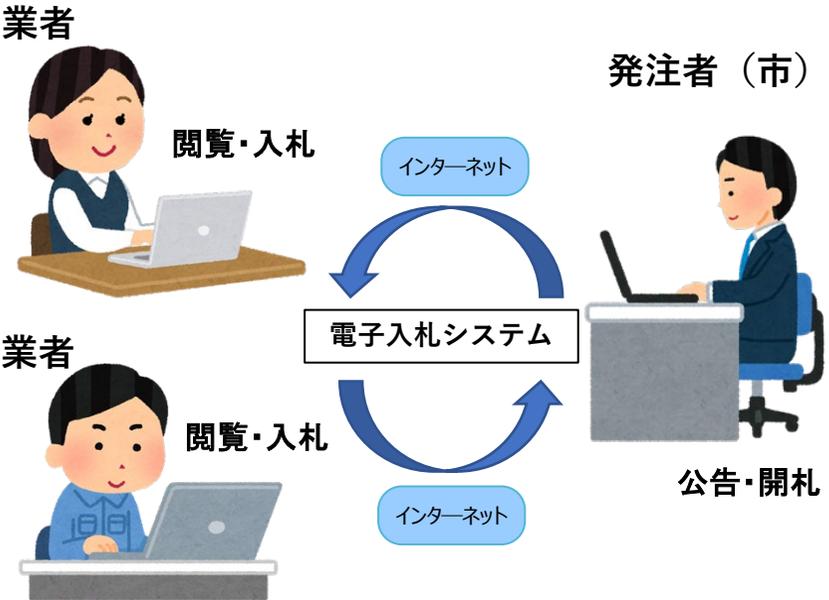
# 事業概要 【LINEを活用した子ども・子育て等行政情報配信事業】

自治体名	秋田県北秋田市	人口	28,612人	事業費	7,147千円
事業概要	<p>これまで主であった行政情報配信ツールである広報誌では、頻度や内容が限定されることから、本市が抱える「市民（特に子育て中の市民）へ行政情報を十分に伝えるにはどうすべきか」という課題を解決するため、多くの市民が日常的に使用しているLINEを活用して「知りたい行政情報」へ「簡単に」「素早く」アクセスできる環境を整備することで行政情報の配信手法の改善を図り、市民がより安心して生活できるまちを目指す。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>北秋田市LINE公式アカウント運営</p> <p>【行政情報のプッシュ型配信】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一斉配信（一部の災害情報について、既存のメールシステムとの自動連携により配信する）</li> <li>セグメント別配信</li> <li>シナリオ配信(アプリ連携によるゴミ収集リマインド)</li> </ul> <p>【リッチメニューの作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トーク画面にリッチメニューを表示し、子育て、広報、防災、ゴミ（アプリ連携）などの暮らしに関連深い情報へ一元的にアクセスできるようにする。</li> <li>チャットボットによる案内のほか、子育てについてはメッセージフォームにより職員への問い合わせができるようにする。</li> </ul> <p>※上記サービスを提供するため、アプリ（LINE拡張ツール）を導入する。</p>		<p>北秋田市LINE公式アカウント</p> <p>「知りたい行政情報」へ「簡単に」「素早く」アクセス可能</p> <p>行政情報の一元化</p> <p>行政情報</p> <p>子育て 広報</p> <p>防災 ゴミ</p> <p>プッシュ型配信</p> <p>アクセス</p> <p>市民</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①北秋田市LINE公式アカウント登録者数</li> <li>②SNSで行政情報を得ている市民の割合</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①北秋田市LINE公式アカウント登録者の満足度</li> <li>②子育てに係るLINEメッセージフォームでの問い合わせ数</li> </ol>		

# 事業概要 【にかほ市デジタルアーカイブ事業】

自治体名	秋田県にかほ市	人口	22,504人	事業費	76,502千円
事業概要	<p>人口減少や地理的課題による来館者の減少、資料の劣化や逸失の恐れ、地元研究者の高齢化や市民の歴史への関心低下等、市内の博物館系4施設が抱える諸問題について、デジタルミュージアムとして4館が連携表現することで課題解決を図るとともに、市が学校教育で掲げる「にかほ地域学」の推進や研究者らとの関係人口の増進、潜在的来館者である非来館者へのアプローチによる文化観光の促進を図り、市の課題解決の一翼とする。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【デジタルミュージアム】（4館連携）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各館ビュー画像</li> <li>・キッズ・学校用コンテンツ</li> <li>・一般・研究者用コンテンツ</li> <li>・翻刻重ねコンテンツ</li> </ul> <p>【デジタルライブラリー】 （既存システムへの繰り入れによるデジタルミュージアムの相乗効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究書籍3,400冊の追加データベース化</li> <li>・研究書籍の閲覧・貸し出し・返却</li> </ul>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① デジタルミュージアムのページビュー数</li> <li>② 学校教育における利用数</li> <li>③ 博物館4館追加研究書籍利用件数</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 来館者の来館動機、事業認知度、満足度調査</li> <li>② 学校教育における事業満足度調査</li> <li>③ 博物館4館追加研究書籍利用者満足度</li> </ol>			

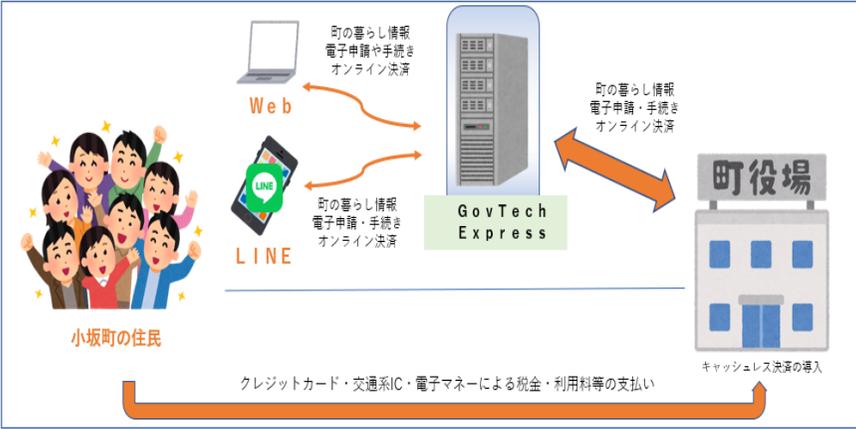
# 事業概要 【秋田県電子入札システム共同利用事業】

自治体名	秋田県にかほ市	人口	22,504人	事業費	2,730千円
事業概要	<p>秋田県が運用している電子入札システムを共同利用しDX化を図ることで、応札業者の入札手続きが簡便化、効率化が促進され費用低減に繋がり、また地理的条件に関わらず応札業者の参入機会が拡大されるため競争性が高まる。入札事務においても、効率化、公平性、透明性が確保されるほか、災害時における事務の迅速化も図られる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>秋田県で運用している電子入札システムを共同利用することで、入札事務（情報公開から開札、決定通知まで）に係る一連手続きが、紙媒体からインターネットを利用して電子的に行えるようになる。</p>	 <p>業者 閲覧・入札</p> <p>業者 閲覧・入札</p> <p>発注者（市） 公告・開札</p> <p>インターネット</p> <p>インターネット</p> <p>電子入札システム</p> <p>【現 状】紙ベースでの郵送も不安</p> <p>【電子化】電子入札になると事務の安心感もアップ</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①電子入札の実施件数割合</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①電子入札システム利用者の満足度割合</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>			

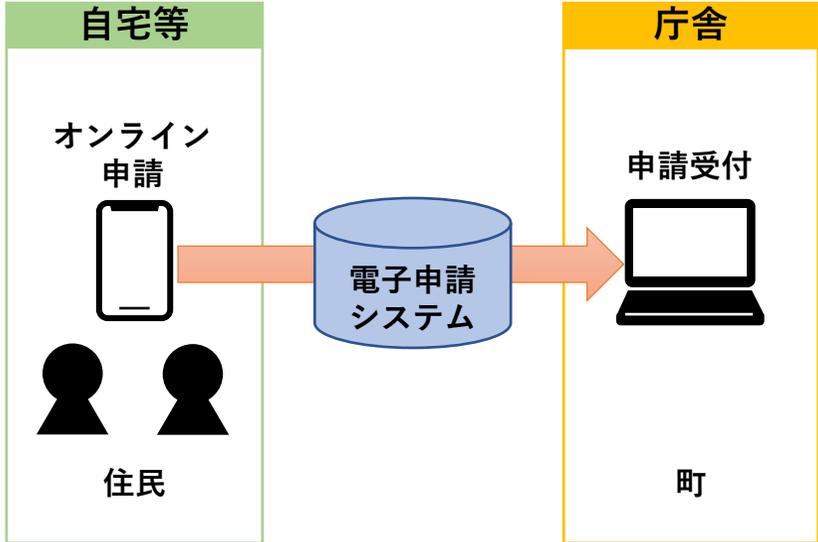
# 事業概要 【公式LINEを活用した行政サービスオンライン化】

自治体名	秋田県にかほ市	人口	22,504人	事業費	1,815千円
事業概要	<p>現在、窓口で手続きをしている申請業務においては電子申請化が進んでいないため、喫緊の課題となっている。市公式LINEアカウントに新機能を拡充させることにより、スマートフォン等で各種行政手続きや市民が気付いたことを報告する機能、その他日常生活において利便性を高める機能を搭載させることにより、市民サービスの向上を図る。また、従来の紙媒体による情報発信のみならずセグメント配信でニーズに応じた情報発信の体制を確立する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>○LINEを用いたサービスの拡大</p> <p>現在、市公式LINEアカウントを保有しているが、防災関連の緊急情報のみの発信となっている。今回、新機能を大幅に拡充することにより、市民の利便性の向上を図る。</p> <p>【各種申請のオンライン化】</p> <p>現在、対応できていない各種窓口での行政手続きをオンライン上で完結する仕組みを構築し、市民の来庁等における負担軽減を図る。</p> <p>【情報発信の充実】</p> <p>現在、紙媒体の広報紙や市HP、SNS等での情報発信を行っているが、情報が必要な人が自ら検索するような形になっている。セグメント配信機能の導入により、希望する情報を登録者へ配信する。</p> <p>【通報機能の導入】</p> <p>電話や窓口等で対応してきた道路の不具合や防犯外灯の故障などについて、LINEで報告する機能を導入することにより、市民の負担軽減を図る。</p>		<p>The diagram illustrates the transition from traditional paper-based administrative processes to a digital, LINE-based system. On the 'Before' side, it shows a ledger for target confirmation, postcard notifications, and in-person paper applications. On the 'After' side, it shows target extraction, notifications via LINE, and digital procedures. A central vertical line separates the two states, with a 'Before' label on the left and an 'After' label on the right.</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①情報発信回数</li> <li>②電子申請対応件数</li> <li>③公式LINEの友だち数</li> </ul>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①サービスの利用満足度</li> <li>②通報機能の利用率</li> </ul>		

# 事業概要 【デジタル実装による住民サービスの向上と変革に向けた気運醸成事業】

自治体名	秋田県小坂町	人口	4,566人	事業費	7,918千円
事業概要	<p>町から地域住民に対してきめ細かな情報発信を行うとともに、申請や予約、災害発生時の情報収集、動物の出没情報などを地域住民がいつでもどこでも連絡・手続きすることが出来るようLINEやWebを活用した新しい情報連携プラットフォームを構築するとともに、多様な決済手段を求める住民への対応としてキャッシュレス化を推進することで、住民満足度の向上とデジタルを身近に感じられるよう機能の充実を目指す。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【スマート役場サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パソコンやスマートフォンを保有する住民がLINEやWeb等から役場への申請や手続き、諸連絡や予約などを行えるプラットフォームを整備する</li> <li>住民がどこにいても気軽に町の暮らし情報を手に入れられる環境を構築し、情報のタイムラグの解消や欲しい情報をきめ細やかに得られる状態を目指す。</li> <li>窓口手続きの迅速化や多様な決済手段への対応としてキャッシュレス化に取り組む</li> </ul> <p>【2023年度実装対象手続き】</p> <p>動物の目撃情報や災害等の発生状況の通報、水道の開閉栓手続き、給付金等の申請手続き、パブリックコメント、キャッシュレス決済等</p>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①小坂町LINE公式アカウントの登録者数</li> <li>②申請件数等に占める電子申請件数の割合</li> <li>③導入するキャッシュレス決済事業者の数</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①小坂町スマート役場（通称）サービスの満足度</li> <li>②LINEで情報を取得している住民の割合</li> <li>③キャッシュレス決済を利用すると答える住民の割合</li> </ol>		

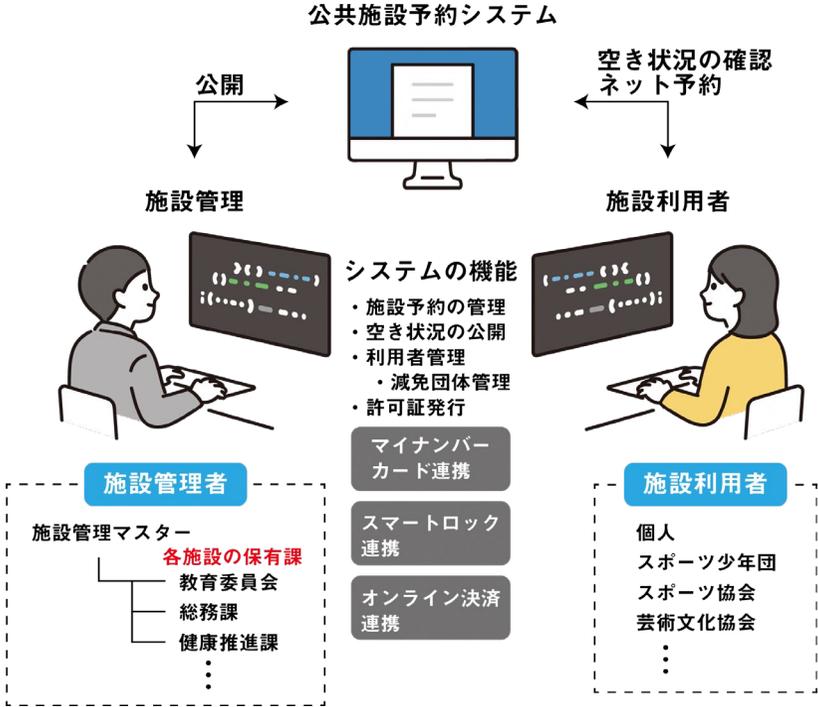
# 事業概要【行政手続オンライン化推進事業】

自治体名	秋田県三種町	人口	14,642人	事業費	6,941千円
事業概要	<p>現在、行政手続の方法は来庁しての申請等によって行われるのが主流ですが、申請等の可能な時間が役場の開庁時間に限られており、手続のためにわざわざ休暇を取得する必要があるなど、現代の多様化したライフスタイル・ニーズに対応できていません。このような状況を改善するため、電子申請システムを導入し、24時間どこからでも手続を行うことができる環境を整備します。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>本業務で導入するシステムは、オンラインで完結できる行政手続をオンラインで完結し、「来させない」窓口を実現します。</p> <p><b>【電子申請システム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民は自宅等からPC、スマートフォン等を使用して、オンライン上で手続を申請できます。</li> <li>● マイナンバーカードを利用し、電子署名ができます。</li> <li>● 電子決済及び電子交付に対応。オンライン上での手続完結を支援し、「来させない」窓口を実現します。</li> </ul>				
<p>主なKPI</p>	<p><b>【アウトプット指標（活動指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①行政手続のオンライン化率（%）</li> <li>②オンライン受付率（%）</li> <li>③</li> </ol>	<p><b>【アウトカム指標（成果指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①継続利用したい申請者の割合（%）</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>			

# 事業概要 【窓口キャッシュレス化事業】

自治体名	秋田県三種町	人口	14,642人	事業費	3,235千円
事業概要	<p>直接現金を扱わないキャッシュレス決済が主流になりつつあるなか、住民票等の窓口証明手数料については現金のみの取り扱いになっており、感染症拡大防止の観点等から非接触環境の整備が求められている。</p> <p>本事業により、現金以外でも公共サービス等の料金支払いが可能となるほか、非接触による感染対策、現金の取扱い・処理に係る時間の軽減が期待され、住民サービス・利便性の向上に繋がる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【キャッシュレスサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クレジットカード</li> <li>・ 電子マネー</li> <li>・ QRコード決済</li> </ul> <p>【キャッシュレスシステム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オールインワン端末</li> <li>・ マルチ決済システム</li> </ul>		<pre> graph TD     User[利用者 (住民等)]     Town[三種町]     Provider[サービス提供事業者]      Town -- ①サービス提供 --&gt; User     User -- ②キャッシュレス決済 --&gt; Town     Town -- ③カード等有効性確認 ④売上処理 --&gt; Provider     Town -- ⑤手数料等支払い --&gt; Provider     Provider -- ⑥明細書送付・代金回収 --&gt; User     </pre>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①窓口のキャッシュレス決済比率</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①キャッシュレス決済の満足度</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>		

# 事業概要 【施設予約システム構築事業】

自治体名	秋田県三種町	人口	14,642人	事業費	3,779千円
事業概要	<p>現在の紙台帳での管理では、これまで「予約状況の確認をとることができない」や「別の体育館の予約状況は？」、「月曜日が閉館日で予約できない」といった苦情、要望が多く寄せられていましたが対応できていませんでした。このことを解消するためにオンライン上での公共施設予約システムを導入し、予約状況の見える化、予約のオンライン申請、紙台帳の廃止などのデジタル化を推進し、利用者の利便性向上を実現したい。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>公共施設予約管理システム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の予約状況の見える化</li> <li>・施設予約のオンライン申請</li> <li>・施設予約の24時間受付対応</li> <li>・施設使用料のキャッシュレス決済</li> <li>・マイナンバーカードを活用したデジタルによる本人認証</li> <li>・団体情報のデジタル管理と効率的な減免対応</li> <li>・スマートロックシステムと連携した鍵管理の無人化</li> </ul> <p>対象施設 26施設/80部屋 (公民館、体育施設、キャンプ場、地区会館、町有バス)</p>		<p>公共施設予約システム</p>  <p>施設の機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設予約の管理</li> <li>・空き状況の公開</li> <li>・利用者管理             <ul style="list-style-type: none"> <li>・減免団体管理</li> <li>・許可証発行</li> </ul> </li> </ul> <p>マイナンバーカード連携</p> <p>スマートロック連携</p> <p>オンライン決済連携</p> <p>施設管理者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設管理マスター             <ul style="list-style-type: none"> <li>各施設の保有課</li> <li>教育委員会</li> <li>総務課</li> <li>健康推進課</li> <li>...</li> </ul> </li> </ul> <p>施設利用者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人</li> <li>スポーツ少年団</li> <li>スポーツ協会</li> <li>芸術文化協会</li> <li>...</li> </ul>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・琴丘総合体育館におけるオンライン予約件数</li> <li>・システムに登録した減免団体数</li> </ul>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予約受け付け業務の合計削減時間</li> <li>・利用者満足度</li> </ul>		

# 事業概要 【電子入札システム導入事業】

自治体名	秋田県五城目町	人口	8,088人	事業費	2,608千円
事業概要	<p>現在、紙等によって行っている工事及び委託業務の入札について、インターネットを活用することによって、入札参加業者に設計図書等の閲覧や入札のために来庁を求めなく実施できるようにします。</p> <p>発注者である町は、設計書や図面等の印刷費やその準備時間、郵送費を削減することができるほか、職員及び入札会場のスケジュール調整が不要になり、スムーズな入札事務を行うことができます。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>「秋田県電子入札システム」の共同利用に参加することで、入札参加業者の入札手続きの簡素化を図ります。</p> <p>入札参加業者は、設計書や仕様書等の閲覧、入札手続きまでを、町役場に来庁することなく行うことができます。</p> <p>開札はシステム上で行うため、開札会場に来庁する必要がなくなり、落札結果もシステムで送信されます。</p> <p>発注者である町は、これまで紙で行っていた設計書や仕様書などの閲覧・貸出用資料を印刷する必要がなくなるほか、業者への指名通知や落札通知、連絡事項などもシステムのみで行うことができるようになります。</p> <p>開札会場の準備がなくなり、事務の効率化が図られます。</p>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①電子入札の実施割合</li> <li>②</li> <li>③</li> </ul>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①電子入札参加業者の満足度割合</li> <li>②</li> <li>③</li> </ul>			

# 事業概要 【行政手続きのオンライン化推進事業】

自治体名	秋田県 美郷町	人口	17,859人	事業費	4,136千円
事業概要	<p>行政手続きのために仕事や休日の時間を削って窓口を訪れたり、申請書の作成で非常に手間がかかっていた住民や事業者に対し、PCやスマホなどデバイスを問わず電子申請が可能な仕組みを構築する。マイナンバーカードとの連携で本人確認やオンライン決済機能を導入する。また、申請者と役場をデジタルで繋ぐ双方向のコミュニケーションを実現するため、申請後のやり取りを実現し、多くの手続きのデジタル完結を推進する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【電子申請サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ノーコード電子申請サービス「Logoフォーム」 （株）トラストバンク社が「LGWAN-ASP」として提供している自治体職員が電子申請や申込予約、アンケートなどのフォームを作成・集計し、一元管理できる自治体専用の「ノーコード電子申請システム」。</li> <li>● Logoフォームと連携・拡充する機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーカードを活用した「公的個人認証」</li> <li>・キャッシュレス決済に対応した「オンライン決済」</li> <li>・申請者と住民をつなぐ双方向のコミュニケーションを実現する「デジタル窓口」</li> </ul> </li> </ul>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 電子申請対応手続き数</li> <li>② 電子申請利用回数</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 次回も電子申請を継続利用したい人の割合</li> </ol>		

# 事業概要【みさと版窓口DX】

自治体名	秋田県美郷町	人口	17,859人	事業費	24,216千円
事業概要	<p>転入出届やその他届出の窓口手続きにおいて、要する時間が平均で30分程度、多いときは90分を超える手続きあり、住民の負担も多く手続きの効率化が課題となっている。そのため、窓口での住民の各種手続きにおけるワンストップサービス化を実現に向けて、「書く・待つ・回る」の負担を軽減するためのシステム整備を行い、窓口周辺環境の整備、窓口業務の見直し等による総合的な窓口改革を行う。これにより住民・職員双方の手続きの簡略化・省力化による時間の創出、利便性の向上を図る。また、住民視点による窓口DXを当町行政DXのリーディングプロジェクトとして位置付け、地域全体のDX推進を目指す。</p>				
<p>具体サービス</p> <p>引越しや戸籍の届出等のライフイベントに必要な手続きや証明書発行等の手続きを対象に、書かない×ワンストップ窓口を導入する。</p> <p>【書かない×ワンストップ窓口】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• すなぐるタッチ（書かない窓口）</li> <li>• 窓口申請システム（ワンストップ）</li> </ul>	<p>The diagram illustrates two service models. On the left, 'すなぐるタッチ' (Touchless) shows a resident submitting a document (転入・転居・転出 or 証明書交付申請) to a staff member, who then processes it (申請情報受理) and issues a certificate (住民記録 or 証明書). On the right, '窓口申請システム' (One-stop window application system) shows a resident submitting a document to a staff member, who then processes it (申請情報受理) and issues a certificate (住民記録 or 証明書). The system also includes a '受付窓口' (Reception counter) and '住民サポートの充実' (Improved resident support). The system also includes a '受付窓口' (Reception counter) and '住民サポートの充実' (Improved resident support). The system also includes a '受付窓口' (Reception counter) and '住民サポートの充実' (Improved resident support).</p>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①窓口申請タブレット「すなぐるタッチ」での手続き件数</li> <li>②ワンストップ窓口での対応件数</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①窓口を利用した住民の満足度</li> <li>②マイナンバーカードの交付率向上</li> <li>③転入届した場合の手続き総時間（平均）</li> </ol>		

# 事業概要 【ICT活用教育推進事業】

自治体名	秋田県美郷町	人口	17,831人	事業費	14,605千円
事業概要	<p>GIGAスクール構想の推進により、1人1台端末の導入が行われたが、全ての児童生徒および教員が活用するためには、授業の中で効率的かつ効果的に扱える環境が必要になる。</p> <p>本事業では、実績のある使いやすい授業支援ソフトを、クラウドサービスによって導入し、全ての教員・全ての児童生徒が、毎日デジタルを利用した授業を実施して、日常的なICT活用を推進していく。</p>				
具体サービス	<p>①授業支援ソフト「リアルタイム授業支援アプリ MetaMoji Classroom」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先生の操作や書き込みをリアルタイムに共有</li> <li>児童生徒の学習状況をモニタリング</li> <li>選択した児童生徒の解答を全員に表示</li> <li>グループでワークシートを共有してリアルタイムに編集可能</li> <li>遠隔授業・オンライン授業もまるでその場で授業を受けているような感覚で利用</li> </ul> <p>②電子黒板整備（12台）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の活動状況の把握や画面の共有</li> <li>電子黒板上で自由に文字を書いたり、書き込んだりでき保存も可能</li> </ul>				
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①授業支援ソフトの週当たりの使用頻度</li> <li>②電子黒板の週当たりの使用頻度</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①授業支援ソフトの児童生徒の満足度</li> <li>②電子黒板の児童生徒の満足度</li> </ol>		

# 事業概要 【公共施設予約システム更新事業】

自治体名	秋田県美郷町	人口	17,859人	事業費	5,005千円
事業概要	<p>現在運用している公共施設予約システムは、電話や窓口で紙等により予約を受け付けて内部システムに入力していたが、インターネット上に公開できず、利用者が自らオンラインで公共施設の予約・施設利用料の決済まで可能とし、利用者の利便性向上と施設管理における業務効率化を実現する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>「公共施設予約管理システム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設予約状況の可視化</li> <li>・施設予約のオンライン申請</li> <li>・施設使用料のキャッシュレス決済</li> <li>・施設利用者のデジタル管理と効率的な減免対応</li> </ul>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①施設予約システムユーザー登録者数</li> <li>②オンライン予約率</li> <li>③オンライン決済利用率</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①施設利用者数</li> <li>②利用者満足度</li> </ol>			

# 事業概要【フロントヤードDX化事業】

自治体名	秋田県東成瀬村	人口	2,398人	事業費	4,931千円
事業概要	<p>役場に行かなければできなかった行政手続きが、「公式LINEを利用したスマホ役場」を導入することで、いつでも好きな時にオンラインで手続きができ、セグメント配信により、必要な情報をどこにいてもPUSH型で受け取ることができる。また、窓口での手書きによる各種証明書等の申請手続きが、「書かない窓口」化により、申請書に自動的に情報が入力され、窓口での負担軽減が図られる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【公式LINEによるスマホ役場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>役場に行かなければできなかった行政手続きが、LINEを利用したオンライン申請サービスを導入することで、時間や場所にとらわれず行政手続きが可能となる。</li> <li>LINEによる配信サービスにより、どこにいても情報を受け取ることができる。また、セグメント配信により、住民が必要とする情報を選択して、取得することができる。</li> </ul> <p>【書かない窓口】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>申請書作成支援サービスにより、マイナンバーカードなどから情報を読み取り、自動的に入力して印刷することができ、窓口での手書きの負担を軽減させることができる。</li> </ul>	<p>【公式LINEによるスマホ役場】</p>  <p>【書かない窓口】</p> 			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①公式LINE登録者数</li> <li>②申請書作成支援サービスの利用率</li> <li>③オンライン申請利用回数</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①公式LINE利用者アンケートによる満足度</li> <li>②申請書作成支援サービス利用者アンケートによる満足度</li> </ol>			